



2020年6月3日

Daiwa House
Group

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社
代表取締役社長 芳井敬一
大阪市北区梅田 3-3-5

■ニューノーマル時代を見据えた、距離や時間にとらわれない「暮らし」を提案 IoTを活用した「コンセプトハウス」を「セキュアシティ藤沢 翼の丘」内にオープン

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：芳井敬一）は、当社が展開するコネクテッドホームブランド「Daiwa Connect（ダイワコネクト）」の提案として、戸建住宅のIoT化に向け、コンセプトモデルの展示と実証実験を目的とした「コンセプトハウス」を、戸建分譲住宅地「セキュアシティ藤沢 翼の丘」（神奈川県藤沢市）内において、2020年6月6日よりオープンします。

昨今、地震・台風等の突発的自然災害、働き方改革に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりテレワークを実施する企業が増加するなど、「暮らし=家の中での過ごし方」の在り方が変化しています。

そのような中、当社は「暮らし」の変化に対応するとともに、ニューノーマル時代を見据え、戸建住宅内のIoT機器等を繋ぐサービスプラットフォームの構築および販売を目指し、開発を進めています。



【(仮称) α-rium (アルファリウム)】



【(仮称) α-board (アルファボード)】

「コンセプトハウス」では、「家で『仕事や教育、買い物など多岐に渡ること』をしなければならない」という生活変化に合わせて、IoTを活用することで、距離や時間の課題を解決するサービスのモックアップ展示を行います。

「コンセプトハウス」の壁面の一部には、プロジェクター2台を使用した大画面とインターネットを通じて、人との繋がりをつくるIoT空間「(仮称) α-rium (アルファリウム)」と、住まいの状態や家族間の情報を共有するコミュニケーションIoTディスプレイ「(仮称) α-board (アルファボード)」^{※1}の試作を展示します。

また、「家族」「建物」「情報」を統合することで、将来的に「暮らし」の最適化を図ることができるかどうかの実証実験を行います。

当社は今後も、IoTを活用することで、居住空間の自由度を向上させ、「暮らしのフレックス化」を目指します。

※1. 「(仮称) α-rium」および「(仮称) α-board」は商用開始前のため、モックアップおよび事例動画での展示です。

●ポイント

1. 当社が目指すIoTを活用した「暮らし」のモックアップを展示
2. サービスプラットフォームの開発と「コンセプトハウス」での実証実験
3. 複数の先進的なIoT機器の体験が可能

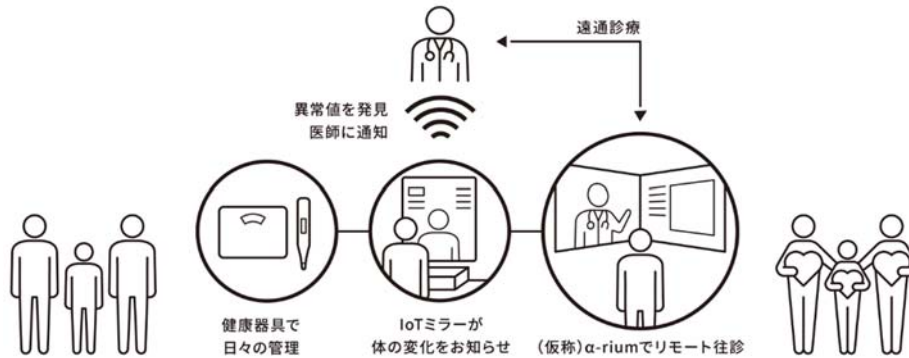
1. 当社が目指すIoTを活用した「くらし」のモックアップを展示

「コンセプトハウス」では、住まいのIoT化を通じ、「家族の健康」「建物の健康」「コミュニケーション」の3つのコンセプトを中心に実証実験を行います。ご入居者の家族構成やライフスタイルに合わせてカスタマイズした様々な機器やサービスを組み合わせることで、「くらし」に合わせたIoTの実現を目指します。

■ 3つのコンセプト

【家族の健康】—毎日測る家族のヘルスケアデータ—

家族のヘルスケアデータ（体温、体重、血圧、睡眠状態）を日々蓄積し、そのデータに変化があった際に通知します。また、将来的にはホームドクター（掛かりつけ医）にデータを提供し、遠隔診療や健康のアドバイスを受けられる仕組みづくりを目指しています。

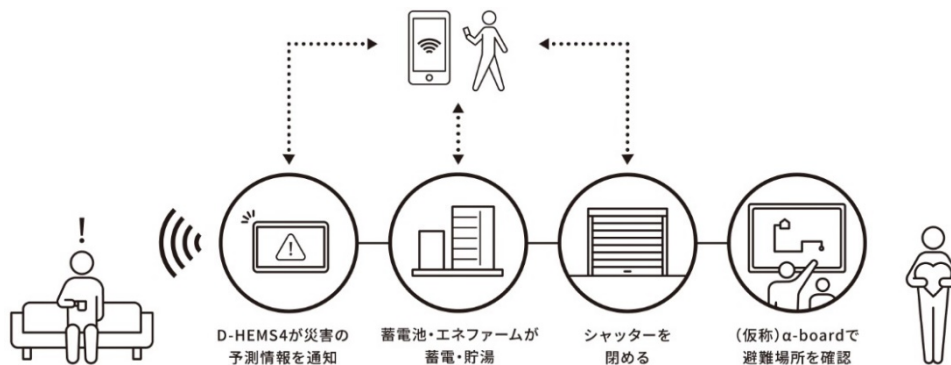


【建物の健康】—災害や被害に備える安全・安心—

「建物の健康」は、「災害や被害に備える安全・安心」と「日常のメンテナンス」の2つの側面から検討しますが、「コンセプトハウス」では、「災害や被害に備える安全・安心」をコンセプトにしました。

自然災害の増加が「くらし」にとって重大な懸念となっている中、災害が予想されると、避難情報や今すべき行動を通知します。

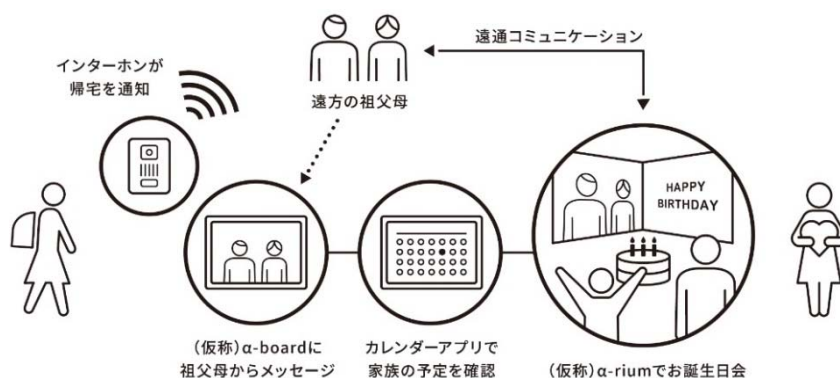
また災害時には、家庭用リチウムイオン蓄電池やエネファームが自動的に蓄電・貯湯、シャッターも自動で閉められるなど、建物自らが建物だけでなく、ご入居者を守る機能の搭載を目指します。



【コミュニケーション】—家族のコミュニケーションを創出—

家庭内のコミュニケーションだけでなく、離れた場所にいる親戚や友人とも円滑なコミュニケーションがとれるよう、テレビ電話や大型プロジェクターなどデジタルコミュニケーションツールを搭載します。

お互い離れた場所においても、誕生日会等のイベントも開催できます。



2. サービスプラットフォームの開発と「コンセプトハウス」での実証実験について

当社は住宅業界に先駆け、2001年より住宅とIoTの融合を目指して研究に取り組んできました。そのような中、2017年に住環境にまつわる課題解決をサポートするためのサービスの具体化を目指したのが、「Daiwa Connect」プロジェクトです。

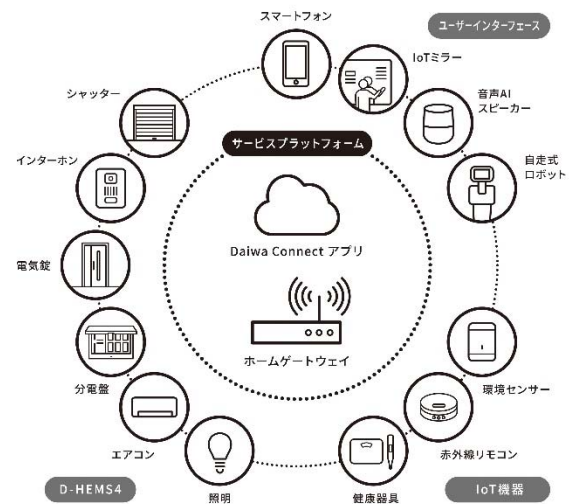
本プロジェクトの第一弾としてAIスピーカーを活用したサービスの提案を開始しましたが、購入されたお客さまの中から、「一定の知識がなければ設置や運用ができない」「どのようなIoT機器を導入したらいいのかわからない」といった声が多く上がりました。

そこで、これらの声に応えるために、「誰でも、すぐに使えるスマートホーム」の提供を目指し、当社では新たなサービスプラットフォームの開発に着手しました。

本サービスプラットフォームの基幹システムには、導入時に機器との接続や初期設定を容易にするだけでなく、様々な機器を一括制御できるホームゲートウェイを採用しました。「コンセプトハウス」内に設置した様々なIoT機器を、ホームゲートウェイが制御することで、安定的な動作と機器管理を行えるかどうかを検証^{※2}します。

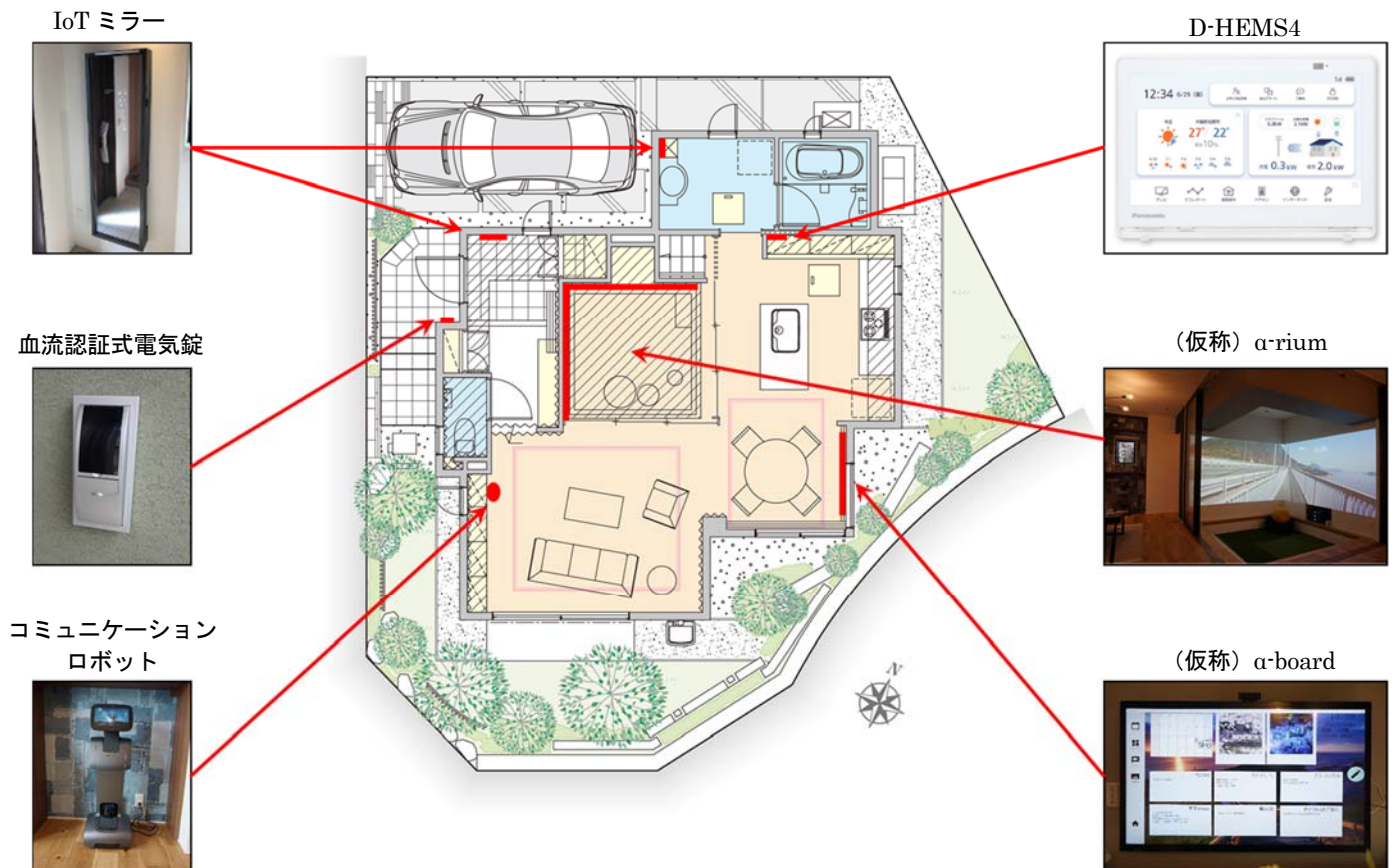
今後は、ホームゲートウェイの改善を行い、様々な企業が提供するスマートホーム機器やサービスへの対応をオープンイノベーションとして、協業パートナーを募ることも含めて推進し、サービスプラットフォームの商用化を目指します。

※2. 実証実験期間は2020年6月6日~9月30日予定。



3. 複数の先進的なIoT機器の体験が可能

「コンセプトハウス」では「(仮称) α-rium」や「(仮称) α-board」の他、複数のIoT機器を展示しました。最新デバイスを複数設置し、お客さまの趣向を調査した上で商用化を目指します。



■設置される主要な IoT 関連機器

機器名称	説明	オープン時体験可否
(仮称) α-rium	縦 200cm×横 250cm を 2 面に設置した巨大プロジェクター。大画面を活かしたシアター機能に加え、通信機能を備える。「その場にいるような」コミュニケーションが可能。テレワークや遠隔医療、遠隔学習など、将来当社が実現を目指す新しい暮らし方を提案。	動画でのイメージデモ ^{※3}
(仮称) α-board	ダイニングに設置した、大画面タッチパネル。IoT 機器や電力の使用状況表示、制御インターフェースとして利用できるだけでなく、今後は住宅設備情報とも繋がる予定。あわせて、カレンダーやホワイトボード機能も備えているため、家族で大画面を見ながら予定を立てられるなど、家族間のコミュニケーションの活性化を目指す。	体験可能
IoT ミラー	モーションセンサーで健康状態を把握し情報を表示。他にも、電車の運行情報や家族のスケジュールなども、一目で確認でききる。	デモ画面表示
コミュニケーションロボット「temi」	AI アシスタント機能を持った自律走行するパーソナルロボット。どこからでも、スマートフォン等で宅内の様子の確認や「自らがあたかもそこにいるような」コミュニケーションが可能。	体験可能
ドアフォン・電気錠	スマートフォンと連動し、外部に居ながら操作が可能。「temi」との組み合わせで、不在時の来客対応も可能。	体験可能
ホームエネルギーマネージメントシステム「D-HEMS 4 (ディー・ヘムス・フォー)」	住宅の発電・売電・電力使用状況がモニターのトップ画面で確認可能。エアコンや照明、シャッターなどの機器を LINE で遠隔操作でき、「おはよう」や「ただいま」のシーンで音声操作も可能。気象情報や避難情報、インフラ情報も、災害時と警報発令前に防災準備を促す。	体験可能
血流認証式電気錠	指の血流パターンを認識させることで、個人を認証し、登録した人だけが玄関扉の電気錠を開錠できる。偽造することは不可能で、鍵のように紛失する恐れが無い。また、インターネットに接続することにより、認証した血流から「誰が帰ってきたか」を判断。指定した連絡先へショートメッセージサービスで通知することが可能。	体験可能

※3. 遠隔医療、遠隔学習、バーチャルスポーツ、バーチャルトラベル、バーチャルショッピング、スポーツ観戦、テレワーク。

■「セキュアシティ藤沢 翼の丘」内のコンセプトハウス概要

所在地 : 神奈川県藤沢市本町 4 丁目 1470-67 (地番)

交通 : 小田急江ノ島線「藤沢本町駅」より徒歩 3 分、JR 東海道本線・湘南新宿ライン・小田急江ノ島線「藤沢駅」より徒歩 13 分

オープン期間 : 2020 年 6 月 6 日～2020 年 9 月 30 日 (予定)

構造 : 軽量鉄骨造 2 階建て

敷地面積 : 134.35 m² (約 40.64 坪)

延床面積 : 120.51 m² (約 36.45 坪)

間取り : 4LDK+WIC+納戸

お客さま : 大和ハウス工業株式会社 湘南支店
 問い合わせ先 : 湘南住宅営業所 分譲課 TEL 0120-192-052
 ※営業時間 10:00～18:00 (火・水定休) ※予約制

法人 : 大和ハウス工業株式会社 東京本社
 問い合わせ先 : 経営企画部 IoT 事業企画推進室 TEL 03-5214-2195
 ※営業時間 9:00～18:00 (土・日・祝定休)
 ※報道関係者は広報企画室までご連絡ください。

【ご参考情報】

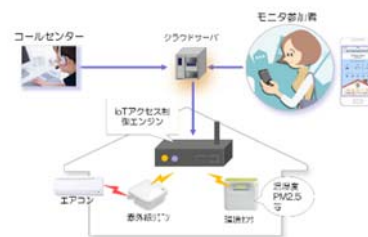
■神奈川県公募の「人と建物の健康をサポートするIoTスマートホーム実証」で採択され、検証した結果について

2019年8月に採択された神奈川県最先端ロボットプロジェクト「人と建物の健康をサポートするIoTスマートホーム実証」において、技術とサービスの両面から、実用化に向けた検証を実施しました。

1. モニター家庭での技術検証結果

藤沢市周辺にお住まいの家庭を10件募集し、開発したIoTプラットフォームの検証を3か月間実施しました。

株式会社NTTドコモが開発した「IoTアクセス制御エンジン」を搭載した宅内コントローラーを活用し、機器の設定や遠隔保守がスムーズに行えることを確認しました。



2. モデルハウスを活用したサービス検証結果

スマートエントランスやスマートリビングなど、IoT機器を活用した生活サービスを試作しました。

また、一般家庭の方や有識者を招き、デモンストレーションを交え、意見交換を行いました。生活情報や家電コントロール機能をまとめたデジタルコルクボードの提案など、日々のちょっとした困りごとを解決できる生活密着型のサービスが好評でした。



以上

お問い合わせ先			
広報企画室	東京広報グループ	03(5214)2112	
	広報グループ	06(6342)1381	